

令和2年度学校評価実施計画

学校名	大分県立大分舞鶴高等学校
-----	--------------

前年度評価結果の概要	<p>〈成果〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現役・過年度合わせて国公立大学への合格240名、難関大学・学部には東京大学、大阪大学、九州大学等に38名合格</li> <li>○県高校総体では優勝旗を3本獲得し、男子テニス部は全国選抜大会で団体3位、カヌー部は国体の男子二人乗りで2種目優勝</li> <li>○科学部や放送部、吹奏楽部等が全国大会や九州大会に出場</li> <li>○3期目SSHも高い評価を受け、4期目の指定校に決定</li> </ul> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●さらなる授業改善、及び生徒の進路目標実現に向けての組織的取組の充実</li> </ul>
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
舞鶴魂「生まれ、がんばれ、ねばれ、おしきれ」を体現化する	「夢拓く舞鶴」の70年の伝統を大切に継承しつつ、時代の変化や社会の要請に適切に対応し、知・徳・体のすべてにおいて舞鶴魂「生まれ、がんばれ、ねばれ、おしきれ」を体現化する生徒を、職員の求められる働き方を踏まえた上で、育成する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 高い志で主体的に挑戦を続ける学習と第一志望の達成</li> <li>2 自主性を重んじ、心豊かでたくましく生きる力の習得</li> <li>3 安全・安心な学校づくり</li> <li>4 教職員の働き方改革の推進</li> </ol>

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
1 高い志で主体的に挑戦を続ける学習と第一志望の達成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校生活アンケート、保護者アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・進路学習の目標が達成できている生徒、保護者の割合 80%以上</li> <li>■学校生活アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・授業で思考力・表現力を着実に身につけている生徒の割合 75%以上</li> <li>■SSHアンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・教科SSHで科学的探究力・問題解決力が身につけている生徒の割合 80%以上</li> <li>■県教委が行う「学習習慣実態調査(国際性)」による達成評価(年1回)</li> <li>・海外へ留学したり、国内外を問わずに海外と関わる仕事についてみたいと思う生徒の割合が、県平均より10%以上高い</li> <li>■平日の学習時間(目標値 1年:180分、2年:240分、3年:300分)</li> <li>・平均学習時間が目標値の80%以上</li> <li>■図書館を活用した授業 年180時間以上</li> </ul>	1-1 10年後の姿を明確化し、自分を磨くキャリア教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未来設計(自分発見学習:年5回)</li> <li>○フューチャーファクトリー(保護者・卒業生による進路講義:1年1学期)</li> <li>○合格へのあゆみ(振り返りノート:毎日)</li> <li>○実力査定・舞鶴模試(3年間で10回)</li> </ul>	PL 進路指導 SL 理数科、学年
		1-2 新学習指導要領を先取りした探究型授業の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本質的な問いを軸にした質の高い双方向対話型授業</li> <li>○相互参観授業(年2回)、指導主事招聘の研究授業(5教科:年2回)</li> <li>○習熟度別授業</li> <li>○最難関・難関大学講座</li> <li>○小論文・面接指導</li> </ul>	PL 教務 SL 進路指導、学年
		1-3 理数科・普通科併設を活かした学びのSTEAM化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○1年 舞STEAMs、データサイエンス</li> <li>○2年 普通科:課題研究、理数科:課題研究</li> <li>○3年 普通科:SSH探究、理数科:舞プロジェクト</li> </ul>	PL 理数科 SL 総務、学年、教科
2 自主性を重んじ、心豊かでたくましく生きる力の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>■部活動の加入率 90%以上</li> <li>■学校生活アンケート、保護者アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・部活動が充実していると感じている生徒、保護者の割合 80%以上</li> <li>■学校生活アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・あいさつ、ルールやマナーの遵守ができていて感じている生徒の割合 90%以上</li> <li>■授業アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・体育の授業に主体的・積極的に取り組んでいる生徒の割合 90%以上</li> </ul>	2-1 高いレベルでの文武両道の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○活動日、練習時間の厳守</li> <li>○生徒が企画し、全員が達成感を得る生徒会活動</li> </ul>	PL 特別活動 SL 学年
		2-2 社会の一員としての人間性や社会性の涵養	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あいさつ運動</li> <li>○PTA・地域と連携したボランティア活動(年5回)</li> </ul>	PL 特別活動 SL 生徒指導、総務、学年
		2-3 生涯をたくましく生き抜く体力の増強	<ul style="list-style-type: none"> <li>○体育学習個人ノートの活用(通年)</li> <li>○保健の調べ学習(1、2年2学期)</li> </ul>	PL 体育科 SL 総務
3 安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学校事故0件</li> <li>■あったかハート1・2・3(県指定の不登校対策)を活用して不登校生徒の早期対応100%</li> <li>■長期化した不登校生徒のうち学校内外の専門機関と連携した対応100%</li> </ul>	3-1 安心して学校生活を送れる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○あったかハート1・2・3(県指定の不登校対策)</li> <li>○不登校対策協議会(毎週)、支援委員会(年数回)</li> <li>○「いじめアンケート」(年3回)、生徒面談(年3回以上)</li> <li>○「人権教育HRA」(1、2年3回、3年2回)</li> <li>○自転車通学生のヘルメット着用の推進</li> </ul>	PL 保健・人権教育 SL 生徒指導
		3-2 リスクマネジメントとクライシスマネジメント両面の徹底	<ul style="list-style-type: none"> <li>○危機管理マニュアルの見直し</li> <li>○防災訓練(年2回)</li> <li>○新型コロナウイルス感染症に関する情報収集と迅速な対応</li> </ul>	PL 生徒指導 SL 主幹教諭、保健・人権教育
4 教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■在校等時間について 超過勤務月45時間以内・年360時間以内達成100%</li> <li>■教職員アンケートによる達成評価(年2回)</li> <li>・「行事・業務の精選が遂行されている」について、教職員の肯定的評価の割合が90%以上</li> </ul>	4-1 勤務時間についての教職員の意識改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>○労働安全衛生に関する研修会(年2回)</li> <li>○ワークスマートデー(ノー残業デー:月1回)</li> </ul>	PL 主幹教諭 SL 保健・人権教育
		4-2 教職員の業務の適正化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「行事PT」による行事の精選</li> <li>○部活動の適正な運営</li> </ul>	PL 主幹教諭 SL 特別活動